

花博の誘致を見送り

市民の皆さんの声を踏まえ、
総合的に判断しましたうえだ ふみお
札幌市長 上田 文雄

平成16年から議論を重ねてまいりました国際園芸博覧会（花博）の誘致の是非につきまして、市民の皆さん一人一人に考えていただくため、昨年の本誌2月号で特集を組み、広く情報提供させていただきました。

多くの市民が花と緑に親しみ、世界中の環境技術が結集する花博は、札幌を「環境首都」として大きく飛躍させるきっかけとなる可能性を秘めています。一方、大規模かつ長期にわたるイベントであることから、その開催の経費は膨大となります。

私は、厳しい財政状況の中、こうした一大イベントは、多くの市民の皆さんのご理解とご協力の下、市全体が一丸となって取り組まなければ成り立つものではないと考え、皆さんに誘致の是非についてご意見を伺うことといたしました。市民1万人アンケートでは3,000人以上の方からご回答いただき、広報誌を通じた意見募集に対しても多数の方

から貴重なご意見をお寄せいただきました。ご協力に心から感謝申し上げます。

アンケートの結果は、以下の通り、賛成が反対を若干上回ったものの、賛成の方の中にも、特に、市の財政状況を懸念する声が多くございました。全体としては、一時的な経済効果には期待が高い一方、暮らしの充実といった中長期的な効果に対する期待は相対的に低かったところ です。

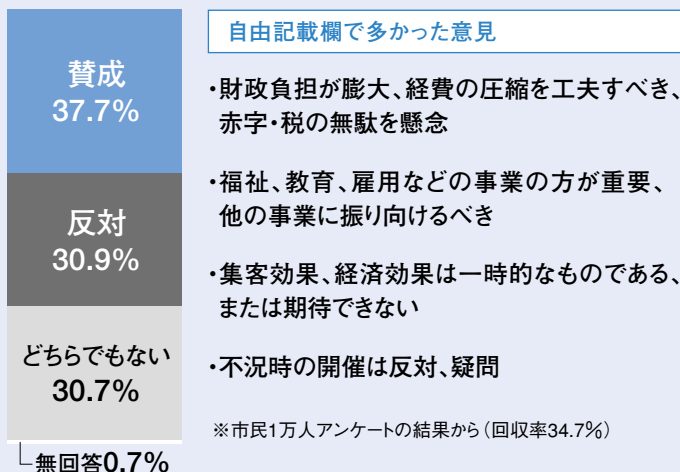
また、経済の先行きが不透明な中、他都市での直近の大規模イベントの開催状況も踏まえ、開催した場合の収支見通しが立つかどうかについても、依然として不安が残るところです。

私としましては、市民の皆様のご意見も踏まえ、総合的に判断した結果、花博の誘致につきましては、見送らざるを得ないとの結論に至りました。皆様にご報告するとともに、何とぞご理解をいただきますようお願いいたします。

▼ 誘致をめぐる主な動き

- 16年 5月 札幌商工会議所から市に対して花博開催の要望書が提出される。
- 19年11月 有識者や市関係部局職員からなる検討委員会が発足。
- 21年 2月 本誌2月号で花博を開催した場合の効果や経費について公表。併せて市民1万人アンケートを実施。
- 21年 7月 アンケートの結果を公表。
- 21年12月 市長が市議会で誘致の見送りを表明。

▼ 花博の誘致に関する市民の意見



アンケート結果の詳細は、ホームページwww.city.sapporo.jp/kikaku/oshirase/hanahaku/index.htmlをご覧ください